I. 神奈川県内　a. 関東ローム層

（15）姶良 Tn テフラ 露頭剥ぎ取り標本

標本番号　KPM-NP 49
標本名　姶良 Tn テフラ 露頭剥ぎ取り標本
大きさ　幅 1.24 m, 高さ 1.0 m
重量　2.2 kg
形状、展示・収納状況　薄い絨毯状、短辺を軸に巻いて大型移動棚に収蔵
採集地　神奈川県厚木市中荻野　荻野運動公園第 2 駐車場北側
緯度・経度　N35º28'59", E139º19'11"
標高　70 m
露頭の種別と現状　道路工事による人工露頭、消失
露頭面の向き、傾斜　N40ºW , 70ºE
堆積物の種別　降下テフラ（陸成層）
年代　26-29 ka（AT、町田・新井，2003）
採集作業者　森山哲和（考古造形研究所）
採集立会い者　笠間友博
採集日　2015 年 3 月 20 日
関連文献等

町田　洋・新井房夫，1976．広域に分布する火山灰－姶良 Tn 火山灰の発見とその意義．科学，**46**(6): 339-347.

町田　洋・鈴木正男・宮崎明子，1971．南関東の立川，武蔵野ロームにおける先土器時代遺物包含層の編年．第四紀研究，**10**(4): 290-305.

上本進二・上杉　陽，1996．神奈川県のテフラ層と遺跡層序－考古学のための Y-no.・S-no. 分層マニュアル－．関東の四紀，(19): 3-24.

解説　姶良 Tn（AT）テフラ（町田・新井，1976）は、九州の姶良カルデラ起源の広域テフラである。本標本は丹沢パミス（町田ほか，1971）として記載された地点の 1 つ、厚木市林にほど近い場所で採取された点で重要である。丹沢パミスとは、富士火山東麓から丹沢山地周辺の富士火山のテフラが厚く堆積しているところに認められるため付けられた名前である。よって、このテフラの保存には富士火山の活動が関わっており、標本にも多くの富士火山起源のスコリア質テフラが含まれている。これらのうち、AT（Y-118）の上位にあるテフラは、発泡の悪い粗粒な黒豆状スコリアを含む（上本・上杉，1996）ので Y-119 とみられる。

記録者　笠間友博

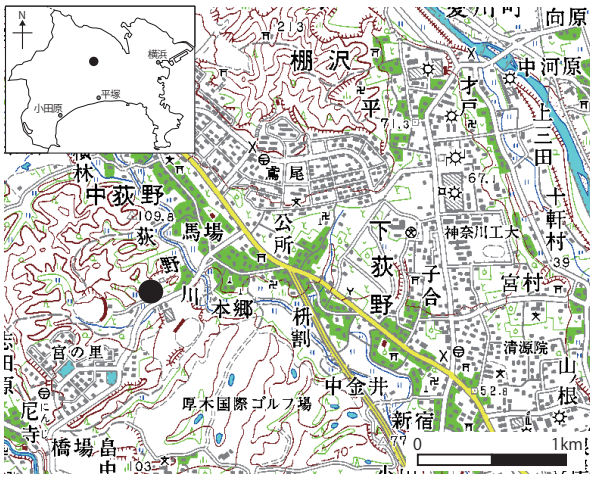

図 Ia-15-1. 採集地点（国土地理院発行の数値地図 50,000（地図画像）「埼玉・東京・神奈川」を使用）.

図 Ia-15-2. 剥ぎ取り標本の採集露頭（p.9 図 3 参照）. スケールは 1 m.

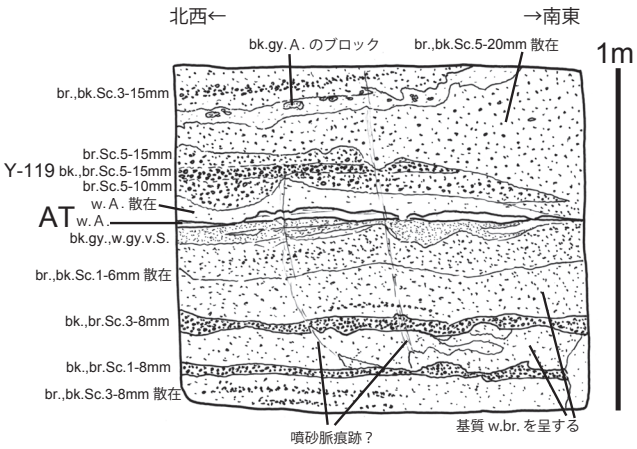

図 Ia-15-3. 剥ぎ取り標本の写真（左）とスケッチ（右 , 笠間原図）.